

○ 「大会期間中における活動結果等」を追記

大会期間中に対処調整センターを運用結果について、その取組の概要等を追記した（P11）

○ 前回会合の結果を踏まえた内容を「大会に向けて推進した取組の大会後における活用方策」に追記

以下のコメントを踏まえた内容を追記した

「5.1 大会に向けた取組を今後活用するに当たっての基本的な考え方」

- ・ 対策に要する負担等を考慮すると、平時の持続的な取組と大規模イベントに向けた取組とでは、メリハリを付けて区別して対策を推進すべき（P14）
- ・ NISCが既存の関係組織との間で、取組の機能等の調整、カバーされていない領域のサポート等を行い、縦割りにならないように取組を推進すべき（P15）
- ・ 海外の取組でよく耳にする「最低限の健全な状態に保つための取組」（hygiene（衛生））が我が国では注視されていない（P16）
- ・ 人事ローテーションがあるため、取組の継続を確保するに当たって、経験やノウハウを組織として受け継ぐことが必要となる（P16）

「5.2 各取組に関する大会後の活用方策等」

- ・ 自律的に情報収集できている組織にとっては、一次情報源からの情報提供は特に有用であるものの、二次情報源以降の情報提供では独自の分析等の付加価値がなければ有用度が下がる（P18）
- ・ コミュニティ内のメンバーのみで有用な情報が共有される機会もあり、所属コミュニティ内の情報共有も重要となる（P20）
- ・ NISCからのリスクアセスメントに関する作業依頼は、事業者間で情報交換し、その意識や理解を高めるきっかけにもなった（P22）

○ 「まとめ」を追記（P27）

○ その他表現等について所要の修正